

外国語科(英語Ⅱ)学習指導案

A TOUR OF THE BRAIN
(高等学校 第2学年)
神奈川県立総合教育センター



【『平成 20 年度研究指定校共同研究事業(高等学校)授業改善の組織的な取組に向けて』
平成 21 年 3 月】

平成 20 年度研究指定校である光陵高等学校において、授業改善に向けた組織的な取組として授業実践を行った学習指導案です。

生徒主体の活動を多く取り入れ、生徒の学習活動に変化をもたせるとともに、視点を変えて文章をとらえさせるように工夫することで、授業への興味を高めさせる学習指導を行いました。

光陵高等学校「英語」学習指導案

1 学 年 第 2 学年

2 科目名 英語

3 単元名(教科書名) L.5 A TOUR OF THE BRAIN (文英堂 Unicorn English Course)

4 単元の目標

- ・音読、暗唱、ペアワークなどの活動に積極的に取り組み、コミュニケーションを図ろうとする。
- ・伝えたい情報を英語で正しく書いたり、正しいリズムやイントネーションで音読したりすることができる。
- ・英語を読んで、情報や考えなどを文章全体の流れを考えながら整理して理解する。
- ・英語の学習を通して、言語やその運用、特に関係詞の継続用法についての知識を身に付けるとともに、パラグラフ構成上の特徴について知ることにより、英語を用いる人々のものの考え方を理解する。

5 単元について

教材観・題材観

この単元は、科学的記事やデータに基づいた論説文となっている。文章の内容を理解するとともに、それぞれの文の構造・語彙・指示語およびディスコースマーカ―などに注意しながら、日本語特有の「起承転結」からなる論説文とは異なった文章構造を理解し、その言語を用いる人々の文化的背景に触れる良い教材である。

生徒観(生徒の状況)

一文ごとの構造や意味は理解しようとするが、文章中での他の文との関連を意識したり、文章全体から一文や語句の意味を類推したりする習慣は十分に身に付いていない。また、自ら考えて文を作ったり、文章を要約したりする活動にも慣れていない。

指導観(主な支援)

初めに、簡単な文章においてトピックセンテンス(主題文:パラグラフの中心となる内容を述べた文)を探す活動を行い、日本語との文章構造の違いを意識させる。続いて、主題文を探すことが、文章の概要を読み取ったり文章の全体像を描いたりする助けになること、また、主題文を軸として文をつなぎ合わせることで文章の要約ができることに気付かせることで、読解力を身に付けさせる。さらにこの単元で学習した知識を基に、積極的に概要を英語で表現する活動につなげる。

6 解決を目指す課題

生徒に学習意欲はあるものの、授業中に集中力を高く維持することができない。

7 課題解決の方法

予習プリントを活用するとともに、生徒主体の活動を多く取り入れ、ペアワーク等を活用し、生徒の活動に変化をもたせる。また、自ら問題を作ったり、段落の中におけるその一文の意味、役割を考えさせたりするなど、視点を変えて文章をとらえさせることにより授業への興味を高める。

8 課題解決の状況を確認する方法

- ・生徒の授業中の取組状況の観察
- ・生徒が集中して取り組めたか、主体的に取り組めたかを測る振り返りシートの内容

9 単元の指導と評価の計画

(1) 単元の時間数 5 時間扱い (1 時間の授業は 90 分)

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
音読、暗唱、ペアワークなどの活動に積極的に取り組んでいる。 リスニング、シャドーイングなどの活動において正確に聞き取るようとしている。	正しいリズムやイントネーションで音読したり暗唱したりすることができる。 学習した内容や文法などのルールに従って、本文の情報や自分の考えを適切に表現することができる。	語句や文法についての知識を活用して、英文の内容を正しく理解することができる。 論理的な文章構造を踏まえて正しく内容を理解することができる。	リズム、イントネーションなどを含めた語句や文法の知識を身に付けている。 ディスコースマーカの働きを知り、その言語を使用する人の思考法を理解している。

(3) 指導と評価の計画

時	学習内容	指導内容	評価規準 (評価の観点)	評価方法
1	単語テストを受ける。 補助プリントによる要約練習をする。 トピックセンテンス(以下「主題文」)を探す。	単語テスト(指定された単語・熟語集の範囲をあらかじめ指定し、小テストを実施、ペアで採点する。)[単語テストは毎時間行うが、2時間目以降は記載しない。(評価規準、方法についても同様)] 100～120 字の日本語で要約するよう指示する。生徒にあまり負担の無いよう、既読の文章から準備する。本課の学習後に到達度を測る際、同レベルの英文で同じ活動をさせるので、ここでは文章構造について事前の説明はしない。 アカデミックライティング及びディスコースマーカについてのプリントを配付し、主題文の特徴などについて説明した後、生徒に上記プリントから主題文を探させた後、正解を伝える。	知識 評価規準は「9(2)単元の評価規準」に対応する。 知識	小テスト 後日ペーパーテスト

<p>1</p>	<p>本パートの新出単語の意味、発音等の確認、発音練習</p> <p>構文を理解する。 <PART 1 の構文></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ,who / ,when ・ it turns out... ・ whatever <p>本文の読み(C D)を聞いた後、内容についての問いに答える。</p> <p>英文の内容を理解する。</p> <p>和訳プリントで意味を確認する。</p> <p>音読練習(リピーティング/個人読み/シャドーイング/サイトトランスレーションのプリントを用いてペアリーディングなど)をする。</p> <p>指定された箇所をペアで暗唱し合う。</p> <p>主題文を探す。</p> <p>課題の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次パートの全段落の主題文を探しておく。 ・ 文法プリントを解いておく。 	<p>単語の意味を確認させ、発音練習させる。数語については英英辞典からの説明を読み、生徒は当てはまる語句を答える。</p> <p>予習のためのプリント(True or False Quiz(T/F)、注意すべき語句、指示語、重要構文)を配付しておき、適宜生徒に当てて意味などを答えさせ、説明を補足する。</p> <p>本文の概要把握を目的とする。教科書脚注の問いなども含めながら比較的簡単に答えられる問いにする。</p> <p>適宜生徒に内容について尋ね、説明を加える。</p> <p>和訳プリントを配付する。</p> <p>英文を読む。生徒にプリントを配付する。ペアでじゃんけんをして、音読する順番や読む部分を決めさせる。</p> <p>授業者は数文を読み上げ、生徒にマーキングさせる。練習させた後、暗唱できるか確認し合うよう指示する。</p> <p>初期段階なので、比較的分かりやすい第 2 段落のみ問う。その後、全段落の主題文も伝え、その理由を解説する。</p> <p>課題を指示する。</p>	<p>表現</p> <p>関心</p>	<p>生徒の活動の観察</p> <p>生徒の活動の観察</p>
----------	--	---	---------------------	---------------------------------

<p>2 (本時)</p>	<p>前時の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文法事項の問いに答える。 ・ 前時の範囲を音読した後、CD 音声を聞き、聞き取れた単語を答える。 <p>前時 ~ に同じ(新出単語 内容理解 和訳確認 音読練習)</p> <p><PART 2 の構文></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ however, ・ on the other hand ・ ,as ・ depend on ・ 前置詞 + 疑問詞節 <p>主題文を探す。</p> <p>本時 (PART 2) の内容についての問題を 2 問作り、ペアで互いに答える。その後、他の生徒にも問う。</p> <p>課題を確認する。(次パートの予習、主題文探し、文法の問題集を解いておく。)</p>	<p>前時の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な関係詞の継続用法についての Q & A を行う。 ・ 単語・熟語テストの後、前時のパートの音声を流し、適当な 5 か所で止める。最後に聞き取れた単語を書き留めるよう指示する。 <p>前時 ~ に同じ</p> <p>音読練習では、「速さ」を競う活動をペア練習後に行うことを予告する。ペア練習の後、全員で立ち、両者が読み終わったら、ハイタッチをして握手をして座る。上位 10 ペアまでで活動は終了する。</p> <p>生徒を指名し、主題文を答えさせる。</p> <p>プリントを配付し、作問の条件を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プリントに書き込んで作る。 ・ 疑問詞疑問文とその模範解答を前後半のパートで一つずつ作る。 ・ プリントは回収するが、良問は次回小テストに採用すると予告する。 <p>課題の指示をする。</p>	<p>知識</p> <p>理解</p> <p>表現</p>	<p>小テスト</p> <p>生徒の活動の観察</p> <p>プリントチェック 後日ペーパーテスト</p>
<p>3</p>	<p>前時の復習</p> <p>前時 ~ に同じ(新出単語 内容理解 和訳確認 音読練習 主題文を探す)</p> <p><PART 3 の構文></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前置詞 + 疑問詞節 / that 節 ・ 関係詞節による強調 <ul style="list-style-type: none"> ・ 存在の be 動詞 	<p>音読の後、前時 で生徒が作った問題のうち数問を選んで質問し、数人に答えさせる。</p> <p>前時 ~ にほぼ同じ</p>	<p>関心</p>	<p>生徒の活動の観察</p>

<p>3</p>	<p>指定された構文を用いて英文を作る。</p> <p>指名された生徒は答える。</p> <p>暗唱練習（ペアワーク）</p> <p>文法、構文演習</p> <p>課題の確認（次パートの予習、主題文探し）</p>	<p>一つは決められた構文を用いて、生徒が内容を考えて英文を作るよう指示する。残りは指導者が日本文を与える。</p> <p>生徒を指名して解答させる。良い問いは次の活動での暗唱例文に加える。机間指導し、あらかじめ指名する生徒を選んでおく。</p> <p>暗唱の時間を取った後、ペアで上記の英文から問題を出し合う。</p> <p>複合関係詞についての演習問題を解答させた後、解説する。</p> <p>課題を指示する。</p>	<p>表現</p> <p>理解</p> <p>知識</p>	<p>小テスト</p> <p>後日ペーパーテスト</p> <p>後日ペーパーテスト</p>
<p>4</p>	<p>前時の復習 前時 に同じ <PART 4 の構文></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ suffer from ・ the+比較級..., the+比較級 ... ・ wherever+名詞 + SV... ・ it...for A to ~ <p>PART 4 を英語で要約する。</p> <p>文法、構文演習</p> <p>課題の確認（前時に同じ）</p>	<p>前時 で書いた英文の小テスト 前時 に同じ</p> <p>主題文をつなげると要約が出来ることを説明し、時間を取って各自考えさせた後、生徒数名に解答を発表させる。</p> <p>文法の正確さはここでは問わない。主題文を正しくとらえているか、キーワードを入れているかに重点を置き確認させる。プリントは回収する。</p> <p>比較級について（比較級の強調、慣用表現）の演習問題を解答させた後、解説する。</p> <p>課題を指示する。</p>	<p>理解 関心</p> <p>理解</p> <p>知識</p>	<p>小テスト 生徒の活動の観察</p> <p>要約文チェック</p> <p>後日ペーパーテスト</p>

5	<p>前時 と同じ</p> <p>< PART 5 の構文 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・付帯状況の with ・ may... , but ~ ・ whenever + SV <p>パラグラフの順番を変えて、本課全文が印刷してあるプリントを基にまとめの活動を行う。(正しい順に並べる。主題文をマーカーで塗る。)</p> <p>を参考にして要約英文を作る。</p> <p>演習用プリントの要約をする。</p> <p>課題の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト本文の後にある練習問題を解いておく。 ・次の課の本文全体に目を通し本文に関する T/F 問題プリントを解いておく。 	<p>前時 と同じ。</p> <p>プリントを配付し、指示する。</p> <p>空所のある英文プリントを渡す。下線や空欄を補うことで、本課全体の要約をさせる。</p> <p>1 時間目の にある補助プリントに準じたものを用意し、配付する。生徒の活動の様子を観察しながら、必要に応じてつなぎの表現を加えるなど適宜アドバイスを加え、要約をまとめさせる。</p> <p>課題を指示する。</p>	<p>理解 関心</p> <p>理解</p> <p>表現</p>	<p>小テスト 生徒の活動の観察</p> <p>生徒の活動の観察</p> <p>要約文チェック 後日ペーパーテスト</p>
後日	<p>定期テスト</p> <p>与えられた場面に応じて、ディスコースマーカーを入れる。</p> <p>与えられた場面に応じて、正確に関係詞を選ぶ。</p> <p>与えられた場面や条件に応じて、学習した内容や文法事項を用いて自分の考え等を適切に表現できる。</p>		<p>知識</p> <p>知識</p> <p>表現</p>	<p>ペーパーテスト</p>

(4) 観点別評価について

指導と評価の計画に記載した評価規準の一部について、「十分満足できる」状況(A)と判断した具体的状況例と、「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への手だてを記載した。

【関心・意欲・態度】

学習活動における具体の評価規準	音読、暗唱、ペアワークなどの活動に積極的に取り組んでいる。
「十分満足できる」状況(A)と判断した具体的状況例	常に積極的に活動に取り組んでいる。
「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への手だて	ペアワークにおいて、話しやすい、聞きやすい雰囲気を作る。

【表現の能力】

学習活動における具体の評価規準	学習した内容や文法などのルールに従って、適切に表現することができる。
「十分満足できる」状況(A)と判断した具体的状況例	与えられた場面に応じてふさわしい表現を選択している。
「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への手だて	単語、構文など表現するための材料を与え、説明を補うなどする。

【理解の能力】

学習活動における具体の評価規準	論理的な文章構造を踏まえて正しく内容を理解することができる。
「十分満足できる」状況(A)と判断した具体的状況例	論理的な文章構造を踏まえて、その内容を常に正しく理解している。
「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への手だて	文章の構造について説明を補うなどする。

【知識・理解】

学習活動における具体の評価規準	リズム、イントネーションなどを含めた語句や文法の知識を身に付けている。
「十分満足できる」状況(A)と判断した具体的状況例	単語や関係代名詞などの知識の確実な定着が見られる。
「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への手だて	説明を更に加える。必要に応じて補充の演習問題を与える。

10 本時の展開(単元の2時間目)

(1) 本時の目標

段落の構造に着目し、構造を理解する。

次の用法を理解し、習熟する。

- ・‘as’ (疑似関係代名詞) などの関係詞の用法
- ・前置詞 + 関係詞節 / 疑問詞節

脳の性差は測定時期によるところも大きい、という英文の内容を理解する。

(2) 本時の指導過程

過程	学習活動	指導内容	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
単語熟語小テスト 0～10分 (10分)	英単語・熟語を10題答える。ペアで採点する。	指定された範囲から10問出題する。時間をおき、正解を板書し、採点させる。	難易度が偏らないように留意する。	知識 (小テスト)
前時の復習 10～20分 (10分)	関係詞の継続用法についての問いに答える。 前時の範囲をCDに合わせて音読した後、再度音声を聞きながら、聞き取れた単語を答える。	例文を板書し、関係詞の前にコンマが加わると意味が変わることや、先行詞が特定化されている場合はコンマを打って継続用法にすることなどを確認させる。 1) He has two sons, who are doctors. 2) She lived in Hiroshima, where she met her husband. CDをかける。適当な5か所で止め、生徒は最後に聞こえた単語を書き留めるよう指示する。	継続用法の先行詞は特定の(唯一の)人・物であり、関係詞は補足説明であることを確認させる。	
導入 20～30分 (10分)	予習プリント中のT/Fの答え合わせをペアで行う。 新出単語、熟語、本文中の構文の意味を確認し、発音練習をする。	適宜、英語の説明に当たる語を答えさせたり、日本語で答えさせたりする。構文はあらかじめ配付しておいたプリントに沿って確認させ、状況に応じて説明を加える。 <構文など> 前置詞 + how[when]節 /,as.../,when /on the other hand	新出単語は2、3回ずつ発音させるが、一回目は発音記号を見るよう指示する。	
展開 30～75分 (45分)	パラグラフごとにCDを聞いた後、英語による問いに英語で答え、概要をつかむ。	内容について英語で問う。	概要をつかむための問いなので平易なものにする。数問はあらかじめ生徒に知らせておく。正解は後日まとめて配付する。	

<p>展開</p>	<p>説明を聞いたり、問いに答えたりしながら内容を理解する。(日本語でQ & A)</p> <p>主題文を探して答える。</p> <p>和訳プリントで本パートの内容を確認する。 音読(個人/ペア)指導者に続いて音読した後、ペアで練習する。</p> <p>暗唱</p> <p>問題作り</p>	<p>日本語で内容、指示語の指す語句などについて聞き、適宜説明する。本文中の、'spatial reasoning' は理解しにくい用語なので、はじめに実際に空間認知のクイズを解かせ、教科書中のどの用語についての能力を問う問題かを答えさせる。</p> <p>第2・3段落の主題文を問い、段落の構造を確認させる。</p> <p>日本語訳を配る。</p> <p>サイトトランスレーションプリントを配付する。指導者に続いて音読させる。また、「速さ」を競う音読活動をペア練習後に行うことを予告する。ペア練習の後、全員で立ち、両者が読み終わったら、ハイタッチをして握手をして座る。上位10ペアまでで活動は終了する。</p> <p>指導者は四つの文を読み上げ、生徒はその部分を探して和訳するとともにマーカーで塗り、暗唱する。</p> <p>作問用プリント(Part 2の全文および問題を作るに当たったの条件を示したもの)を配付する。「内容を問う2問は、一つは疑問詞疑問文とし、脚注問題と重複しない」という条件を伝える。答えも考えておくよう指示する。</p>	<p>導入時に既習の構文を再確認し、段落構成を意識させる問いかけにする。</p> <p>すべての段落に主題文が在るわけではないこと、概要把握の手段であることを伝える。</p> <p>相手にしっかり伝わるよう、正確にはっきりと音読させる。</p> <p>本時の目標にある構文を中心に選んで覚えさせる。</p> <p>机間指導をしながら、必要に応じてヒントを与えたり、誤りに気付かせたりして、全員が取り組めるよう留意する。</p> <p>生徒の問題例： ・Which brains are bigger, men's brains or women's brains?</p>	<p>理解 (生徒の活動の観察)</p> <p>表現 (プリントチェック、後日ペーパーテスト)</p>
-----------	---	--	--	---

	それぞれの自作問題を数人の生徒に出す。	問題ができたところに、ペアとそれ以外の生徒 2、3 人に質問させる。その際、席を立ってもよい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ Do most areas of the brain mature faster in boys? ・ How many years earlier will the areas for mechanical reasoning seem to mature? 	
まとめ 75～90 分 (15 分)	次回学習の予定を聞き予習に備える。	次回は Part 3 を行うことの予告をする。各段落の主題文を探し、文法問題集で、解いてくる箇所を指定する。		

11 解決を目指した課題の解決の状況

生徒の予習状況も良く、生徒も 90 分間があっという間に過ぎたようである。授業全体を通して、生徒の反応が良かった。日ごろはたまに見受けられる、教員の指示を聞いていなかったり、聞き直したりといったことも全くなく、授業を進めていく中でも、流れが途切れることなく生徒が集中して取り組んでいる手ごたえがあった。復習活動として授業の始めに行った、CD を途中で止め、最後に聞き取れた単語を答える活動は初めての試みだったが、生徒は指示、単語ともによく聞き取っていた。ペアによる音読は、速さを競う活動にしたため、生徒は特に意欲的に行っていた。また、授業後アンケートの「今日は集中して臨めましたか？」という質問についても、33 名の回答のうち 6 名の生徒が「非常に良い」、17 名が「良い」と答えていて、「あまり」「全く」を選んだ生徒はいなかったことから、解決状況は良好だったといえる。

12 授業実践に関する成果と課題

予習プリントを基にして生徒が予習をしたことにより、生徒は文章を読み取りやすくなり、授業への取組状況が改善された。同時に、予習のポイント (= 授業のポイント) が絞られ、その結果、生徒にとってもメリハリのある授業になったと思う。また、「聞く」「黙読する」「音読する」「単語を探す」「図を用いた空間認知のクイズをする」などの様々な活動を行った結果、生徒は継続して授業に集中していた。

教科書の内容について生徒は質問文を作ったが、お互いに聞き合う時間が十分にとれず、次回に持ち越した。教科書内の表現をヒントに問題文が作れるという取り組みやすさもあり、生徒は意欲的に問題文を作り、ペアでお互いの質問に答えていた。しかし、始めから全員が「正しい英文」を作れるわけではないので、生徒の良問を紹介したり間違いやすい点、留意すべき点を伝えたりするなど継続して指導していきたい。

今後の課題としては、90 分授業における「評価」「変化をもたせること」が挙げられる。今回四つの評価の場面を設定したが、実際には様々な活動を取り入れながら 90 分を組み立てることに留意しなければならず、授業内での評価の数は絞る必要があった。また、「変化」のある授業も、同じ「変化」ではやがて生徒にとっては「単調」なものとなってしまう。今後も学力の定着を目指しつつ、変化のある形態を模索していきたい。

予習プリント

LESSON 5 PART 2

【TRUE / FALSE】

1. The bigger brain a person has, the more intelligent he/she is.
2. Men's brains and women's brains are different in the way they work.
3. Men like to use various areas of the brain in reading a book.
4. The areas for spoken language and writing mature earlier in girls but the areas for mechanical and spatial reasoning mature earlier in boys.
5. Even after they are fully grown up, most aptitudes are different between men and women.

【New words and phrases: 右の[]は授業中に使います】 A[] B[] C[]

1. predict
2. task
3. tend
4. pattern
5. anger
6. mature
7. mechanical
8. reasoning
9. visual
10. target
11. spatial
12. depend on
13. focus on

【WHERE TO FOCUS : 特に指定の無いものは日本語で答えよ】

1. p 75 l 6 'size do not predict intelligence, as was once thought' 中の 'as' の先行詞は? 上の文に下線を引くこと。
2. l 9 'We can see differences, however, in how their brains work.' 中の 'in' の目的語は? 上の文に下線を引くこと。
3. l 10 'When men and women are given a certain task' 中の 'a certain task' の具体例は?
4. p 76 l 1 'The same pattern occurs when men and women experience feelings of anger or sadness.' の 'The same pattern' を具体的に言うと?
5. l 15 'Especially the areas for spoken language, writing and distinguishing faces mature several years earlier in girls.' の主語はどこまでか、スラッシュで示せ。

6. 1 13 ‘It just depends on when you test them.’ 中の ‘It ‘ が指す内容は？

【Which meaning is used in part 2?】

1. once (p 75 l 7)

- A) one time B) past C) as soon as

2. certain (l 11)

- A) sure B) particular

3.to complete (l 16) の働きは？

- A) 名詞的用法 B) 形容詞的用法 C) 副詞的用法

4. according to (l 20)

- A) as stated by; such as ‘according to the weather forecast,....’
B) following; such as ‘You must behave according to the rules.’
C) depending on the situation; such as ‘You must pay tax according to your income level.’

5. that (p 76 l 11) の働きは？

- A) 副詞 B) 接続詞 C) 代名詞

【Which sentence of the 2nd paragraph shows its topic? Circle the number below.】

The [1st /2nd / 3rd / 4th] sentence shows its topic.

【Which sentence of the 3rd paragraph shows its topic? Circle the number below.】

The [1st /2nd / 3rd / 4th / 5th] sentence shows its topic.

Most studies agree
that men's brains are about 10% bigger than women's.
But size does not predict intelligence,
as was once thought.
Men and women perform similarly
on intelligence tests.

We can see differences, however,
in how their brains work.
When men and women are given a certain task,
such as solving a math problem or reading a book,
women tend to use
various areas of the brain together
to complete the task.
On the other hand,
men tend to use or focus on
only one area of the brain
according to the particular task.

The same pattern occurs
when men and women experience
feelings of anger or sadness.

Also, we can find differences
in how men's and women's brains develop.
Most areas of the brain mature faster in girls.
Especially the areas
for spoken language, writing and distinguishing faces
mature several years earlier in girls.
Certain areas mature faster in boys.
In particular,
the areas for mechanical reasoning,
visual targeting and spatial reasoning
seem to mature
four to eight years earlier in boys.

But after some time,
when our brains are fully developed,
certain aptitudes may not be that different
between males and females.
It just depends on when you test them.

大多数の研究は意見が一致している
男の脳のほうが女の脳より約 10%大きいということで /
だが、大きさと知能が測れるわけではない
以前考えられていたように /
男も女も同様の結果だった
知能検査では /

けれども、(男と女の間に)違いを認めることができる
脳がどう働くかについては /
男女が特定の課題を与えられた場合 /
たとえば数学の問題を解くこととか本を読むような、
女は使う傾向がある
脳のさまざまな領域を一緒に
その課題を完成するために /
これに対して /
男は使ったり集中的に働かせたりする傾向がある
一つの領域だけを
ある特定の課題に応じて /

同じような傾向が認められる
男女が経験するときにも
怒りや悲しみの感情を /

また、違いを見出すことができる
男と女の脳の発達の仕方について /
脳の大部分の領域は女子のほうが早く成熟する /
特に、領域、
話し言葉や、書字、顔の識別のための
女子のほうが数年早く成熟する /
ある領域は男子のほうが早く成熟する /
特に、
機械的推理の領域や、
目で目標を捉えること、空間的な推論にかかわる領域は、
男子のほうが成熟するようである
4年から8年早く /

けれど、しばらくして、
脳が十分に発達したときには、
いくつかの素質はそれほど違わなくなる
男と女の間で /
違いの有無は検査する時期に因るだけなのだ /

和訳例

LESSON 5 Part 2

大多数の研究において、男の脳のほうが女の脳より約 10%大きいということで意見が一致している。だが、以前考えられていたように大きさで知能が測れるわけではない。知能検査での成績は、男も女も違いはないのである。

けれども、脳がどう働くかについては男と女の違いを認めることができる。数学の問題を解くとか本を読むなどといった特定の課題を与えた場合、女はその課題を果たすために脳のさまざまな領域を同時に使う傾向がある。これに対して、男は課題によってある一つの領域だけを使ったり集中的に働かせたりする傾向がある。男女が怒りや悲しみの感情を経験するときにも同じような傾向が認められる。

また、男と女の脳の発達の方についても違いを見出すことができる。脳の大部分の領域は女子のほうが早く成熟する。特に、話し言葉、書字、顔の識別にかかわる領域は女子のほうが数年早く成熟する。男子のほうが早く成熟する領域もある。特に、機械的推理、目で目標を捉えること、空間的な推論にかかわる領域は、男子のほうが4年から8年早く成熟するようである。

けれど、しばらく時がたって脳が十分に発達すれば、いくつかの素質は男女間でそれほど違わなくなる。要するに、違いの有無は検査する時期によるのである。

『究極の 2 問作成シート』

'Which(どれが、どちらが)' 'Who' 'Where' 'When'などはおなじみですが、'How much'や 'What kind of + 名詞'などもオススメ！

ルール 1 : 前後半で一問ずつ内容について問う疑問文を。そのうちの一つは疑問詞疑問文に。

また、その模範解答も書いておく。

ルール 2 : 質問・解答の際には下にある表現を用いて英語で。

Most studies agree that men's brains are about 10% bigger than women's. But size does not predict intelligence, as was once thought. Men and women perform similarly on intelligence tests.

We can see differences, however, in how their brains work. When men and women are given a certain task, such as solving a math problem or reading a book, women tend to use various areas of the brain together to complete the task. On the other hand, men tend to use or focus on only one area of the brain according to the particular task. The same pattern occurs when men and women experience feelings of anger or sadness.

Also, we can find differences in how men's and women's brains develop. Most areas of the brain mature faster in girls. Especially the areas for spoken language, writing and distinguishing faces mature several years earlier in girls. Certain areas mature faster in boys. In particular, the areas for mechanical reasoning, visual targeting and spatial reasoning seem to mature four to eight years earlier in boys.

But after some time, when our brains are fully developed, certain aptitudes may not be that different between males and females. It just depends on when you test them.

“Are you ready to answer?” ----- (Yes.)

(Q1) _____ ?

(Your partner answers.)

Q : Correct[Incorrect]. The answer is

(Q 2) _____ ?

(Your partner answers.)

Q : Correct[Incorrect]. The answer is

“Thank you.”

本日の授業について

5 / 5

組 番 氏名

1) 今日は集中して授業にのぞめましたか？

5 4 3 2 1

非常に良い 良い まあまあ あまり 全く

2) 英問英答の時は質問がききとれましたか？(主旨が分かったかで答えること)

5 4 3 2 1

全て ほとんど だいたい あまり 全く

3) 文の構造はつかめましたか

5 4 3 2 1

完璧 ほぼ完璧 だいたいは あまり 全く

4) 段落の構造はつかめましたか

5 4 3 2 1

完璧 ほぼ完璧 だいたいは あまり 全く

5) 音読練習は積極的にできましたか

5 4 3 2 1

非常に良い 良い まあまあ あまり 全く

6) 問題は上手く作れましたか

5 4 3 2 1

非常に良い 良い まあまあ あまり 全く

7) 自分の作った問題、友達が作った問題あわせて、感想があれば書いてください。

8) どの活動が集中できましたか(複数回答可)

Thanks a lot for your cooperation.